

9 月報(2023 年) 萌 カトリック福山教会



福山教会活動テーマ：

「喜びをもっていのちをもたらす福音を社会に伝えよう」

〒720-0808 福山市昭和町 7-26
☎【084】923-0614 FAX【084】923-0615
e-mail : fuku-ch@ktd.biglobe.ne.jp

【すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り】(9月1日-10月4日)

宇宙万物の造り主である神よ、あなたはお造りになったすべてのものをご自分の優しきで包んでくださいます。

わたしたちが傷つけてしまった地球と、この世界で見捨てられ、忘れ去られた人々の叫びに気づくことができるよう、一人ひとりの心を照らしてください。

無関心を遠ざけ、貧しい人や弱い人を支え、ともに暮らす家である地球を大切にできるよう、わたしたちの役割を示してください。

すべてのいのちを守るため、よりよい未来をひらくために、聖霊の力と光でわたしたちをとらえ、あなたの愛の道具として遣わしてください。

すべての被造物とともにあなたを賛美することができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。



【福山空襲の日に】

野田茂生

広島原爆の日と長崎原爆の日とに挟まれた 8 月 8 日は、福山空襲の日です。今年は、久しぶりにミサを立て、その後スライドをお見せしながら学習する予定になっていましたが、ミカエル神父様のご病気でミサは取り止めになり、学習会だけを行いました。空襲の日ですから、亡くなった 355 人の犠牲者に哀悼の意を新たにするのはもちろんですが、近代の戦争において、この福山の地は、陸軍歩兵第 41 聯隊が駐屯し、アジア太平洋地



域に及ぼした加害の歴史を看過するわけにはいきません。学習会では、特に後者のことを伝える

のに意を砕きました。なによりも、私たちの教会が建っている場所は、その 41 聯隊の司令部が置かれていたのですから。火曜日の午前 10 時ということもあり、教会に集った方は多くはありませんでしたが、これからも繰り返し、みなさんと確認していきたいと思っています。

【イエスさまマリアさまへのてがみ】

教区創立 100 周年記念行事の子ども企画で
蔵櫻(くら さくら)ちゃんが入選しました♥
8/12(土)広島祇園教会にて表彰式があり、その時
のお写真です。とっても良い記念になりましたね。
入選したおてがみが届きましたら掲載したいと思
います。



【ブラザー阿部のみ言葉の分かち合い】 ～マタイ福音書 18 章～

『あなたに言うておく。七回どころか、七の七十倍までも赦しなさい。』

今日は、この「ゆるす」という言葉に心が留まりました。わたしたちの生活で、簡単にゆるすことができる時もあれば、絶対にゆるさないということもよくあります。人間の弱さから、仕方がないのですが…。

ゆるすという時に、自分の心の中に「自分は間違っていない」「自分は神に誓って正しい」という心を持ってはいないでしょうか。この心の状態では「ゆるし」はあり得ません。

神の前で、互いを弱く小さな者と思う謙遜な心を持たない限り、このみ言葉を実行することは出来ないでしょう。

この「ゆるす」という言葉を考える度に、私の母が生涯大切にしていた言葉、以前にも話しましたが「愛することは許すこと、許すことは、忘れること」の言葉を思います。

たくさんの悩む人、苦しむ人、困っている人を自分の家に招き、寄り添った母、そして、そばで温かく見守っていた父の存在がありました。何度裏切られても、つねに相手を信じ、改心の恵みを祈って待ち続けた姿は、私たちきょうだいの心にしっかりと刻み付けられています。

キリストは十字架の苦しみと死、そして復活を通して、私たちを罪から救うため、限りないゆるしを与えるためにご自分の命を捧げられました。

私たちも、この「ゆるし」の心を神に求めましょう。そして、このゆるしがすべての人の平和、特にこの世界で苦しむすべての人の平和に繋がりますように。

広島教区創立 100 周年のお祝いも今度の 9 月 18 日の記念ミサをもちまして終了になります。教区の一世紀の歴史を振り返って、新しい世紀を迎えるとても意義深い時期を皆さんと一緒に過ごし、迎えることができ本当に嬉しく思っております。

ある教区が 100 周年を迎えたということはどれほど素晴らしいことでしょうか。まずは「教区に定められること」を考えてみましょう。教区制度が先があって、設定しておけばそれに合わせて信徒が自然に集まることでは決してありません。イエス・キリストについてまったく分かってなかったところに福音の種が蒔かれたことも奇跡的なことですし、その福音の価値に感銘を受けて、自分の生き方を福音に従って生きていくと決めた人々が増えてきたことも到底人の力でできることではありません。そういった奇跡が重なってさらに重なって、将来神の民、キリストの体としての成長の可能性が確認でき、その期待の上でやっと教区として定められることになります。つまり、教区創立とは①キリストの福音の光がこの中国地方の人を照らし、②それに応えた人々が集まって、③教区として定められます。いかに素晴らしいことでしょうか！

次に、その教区が 100 年も続いたことです。すでに申し上げたように、「教区」という制度があってからキリスト者が出てくることではなく、キリスト者が集まって、教区という神の国の民であるしるし、キリストの体としてイエスの現存のあかしを成せます。そのしるしとあかしが厳しい混乱があっても決して消え去ることなく、いろんな価値観から挑戦されても本来の価値が色あせることなく、100 年間続けられたのは本当に素晴らしいことです。

福山教会の始めを考えてみると、浦上 4 番崩れがあって、流配された信徒があってから教会ができ、今日に至っているのではないのでしょうか。わたしたちこそ、この神の民とキリストの体である教会の発展を身をもって体験してきた共同体であるので、今度の広島教区の 100 周年を自分たちのこととして大いに喜ぶべきでしょう。

ある意味で当たり前のことですが、はっきりまとめるために申し上げますと広島教区と福山教会がこういうふうを始めと発展の体験を共有し共にしたのであれば、これからの未来への歩みも一つになって迎え進めるべきでしょう。100 周年の喜びもこれからの課題も自分のものとしていきましょう。

今年の野馬追は7月29日(土)、30日(日)、31日(月)に行われました。

毎年7月の最終の土、日、月に行われるのですが、最近の7月の暑さが尋常でないのも、馬も騎馬武者も体力的に大きな負担がかかっているようで、来年か再来年からもっと気候の良い時期に変更しようという動きになっています。5月の連休あたりに移動するかもしれません。

今年は、4年ぶりに何の制限も無しの行事が行われました。詳しくはインターネットで見てください
 7月29日(土)：出陣・宵乗り 7月30日(日)：本祭り(祭場で甲冑競馬・神旗争奪戦) 夜、小高では火の祭り(篝火、花火) 7月31日(月)：野馬懸(小高神社でお小人による裸馬捕縛、神社に奉納) お馬さんの大好きな私は、コロナの前には毎朝通勤途上で朝練のお馬さんに会っていたのでうれしかったのですが、コロナになってからぱったりと会わなくなって、寂しいです。途中にある厩舎が閉鎖されています。時々、お馬さんを運ぶ車に出会って、小窓からお馬さんの優しい目と目が合うとうれしいです。
 (写真は昨年の小高神社での騎馬武者の出番待ちの様子)

話し変わって、2023年5月1日に12年の長い間帰還困難区域だった飯舘村の長泥地区の解除が行われました。福島県の復興拠点として指定されていた地域(写真の地図の青い部分)がすべて解除されたこととなりますが、帰宅困難区域はまだまだ沢山あります。

(黄色い部分は依然として帰宅困難区域)



飯舘村は原発から40km以上離れていますが、風向きで放射線量が高く全村避難となった地域です。昨年の10月に視察に行って、草ぼうぼうの荒地と想像していましたが、それほどでなく、避難した人々は、故郷に帰る気持ちが強く、住民の有志で草刈りに避難先から通っておられたと聞きました。

飯舘村は日本の美しい里山100選の5本の指か10本の指に入るほど美しい村と聞きました。住民の方の熱い思いが、復興拠点以外の帰宅困難地域で、今回、除染せずに解除を勝ち取った公園があるそうです。国が折れて、コンクリート舗装するなど減線量策を講じたとのこと。昨年10月に長泥地区の視察に行かせていただきました。福島県全域からの放射線量が8000ベクレル以上の高い汚染土が中間貯蔵施設に運ばれるのですが、8000ベクレル以下のものは、土以外の金属や枯

れ木、石などを取り除いて、きれいにした土だけを中間貯蔵施設でなく、実証実験場（長泥地区がその一つ）に運び、飯舘村の長泥地区ではそのような土の上に、他の地域から運んできた汚染されていない土で覆って、道路の下に埋めたり、水田試験場、お花（トルコ桔梗など）の栽培などの実証実験をしていました。農家の方は一日も早く帰りたいと、毎日避難先から通って、農地の再生を試みられていました。トルコ桔梗の栽培や、水田の改良など、その郷土愛には私たちの心を打ちます。解除を受けて多くの住民が希望をもって前に進むと言っておられるのには、私たちも共に喜びたいと思いますが、これからどのくらいの方が帰還され、この地域のコミュニティーが成り立っていくのか気にかかり祈ります。頑張っておられる住民の方々を祈りで応援してください。また今年も長泥地区の視察が計画されているので、いつかその後の様子を報告したいと思います



飯舘村長泥行政区の復興拠点などの避難指示が解除され、国道399号のゲートを開放する警備員ら＝1日午前10時

【9月・10月の行事予定】

9月		10月	
9/1～10/4 すべてのいのちを守るための月間		1(日)	墓地ミサ(雨天 10/10) 侍者合宿
8(金)	聖マリアの誕生	2(月)	守護の天使
10(日)	敬老会	7(土)	備後協働体幹事会
18(月)	広島教区 100 周年閉年ミサ	8(日)	広島地区宣教司牧評議会
24(日)	世界難民移住移動の日 ミカエル神父様霊名の祝い	18(水)	聖ルカ福音記者
		20(金)	広島教区召命合同祈りの集い
30(土)	侍者合宿	22(日)	世界宣教の日

【編集後記】

コロナが明けてもなかなかすべてが元には戻りにくいものです。教会に集う私たちもこの3年間で確実に年齢を重ねているのだから。さて、9/10(日)には敬老会が、9/18(月祝)には教区100周年閉年行事が世界平和記念聖堂で催されます。参加することで、盛り上げていきましょう。 S・N